

42 山 形 県 奨 励 品 種

品 種 名 (系統名) 両 親 名	採用 年 度	出穂 期月 日	成 熟 期月 日	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m ²	芒の多少・長短	草 型	穂 発 芽 性	玄 米			食 品 質	味	
										色沢・光沢	心 白	腹 白			千粒重 g
[奨励品種] は え ぬ き (山形45号) 庄内29号×秋田31号 (あきたこまち)	平成 3 年	8 月 2 日	9 月 12 日	69.8	17.5	550	中・中	中間	中	中飴・良	—	極少	22.0	上の上	上の中
[奨励品種] つ や 姫 (山形97号) 山形70号×東北164号	平成 21 年	8 月 10 日	9 月 22 日	74.6	17.1	527	稀・短	中間	中	中飴・良	—	極少	21.9	上の上	上の中
[奨励品種] 雪 若 丸 (山形112号) 山形80号×山形90号	平成 27 年	8 月 3 日	9 月 13 日	67.0	17.7	584	少・短	偏穂数	やや難	中飴・良	—	極少	23.7	上の上	上の中
[優良品種] あ き た こ ま ち (秋田31号) コシヒカリ×奥羽292号	平成 9 年	7 月 27 日	9 月 5 日	80.0	18.1	510	少・短	偏穂数	やや難	中飴・良	—	少	21.7	上の中	上の中
[優良品種] ひ と め ぼ れ (東北143号) コシヒカリ×初星	平成 9 年	8 月 2 日	9 月 12 日	80.0	18.6	553	やや少・短	偏穂数	難	中飴・良	—	少	22.2	上の中	上の中
[優良品種] 出 羽 き ら り (山形100号) 山形75号×奥羽366号 (ちゅうらひかり)	平成 22 年	8 月 3 日	9 月 13 日	77.2	18.7	512	少・短	中間	中	中飴・良	(少)	中	24.1	上の下	上の中
[優良品種] コ シ ヒ カ リ (越南17号) 農林22号×農林1号	平成 9 年	8 月 10 日	9 月 21 日	92.5	17.8	524	少・短	偏穂重	難	濃飴・良	—	極少	21.6	上の中	上の中
[認定品種] は な の 舞 い (庄内32号) 北陸99号×コシヒカリ	昭和 62 年	7 月 24 日	8 月 31 日	82.5	18.2	478	少・短	偏穂重	難	淡飴・良	—	少	21.5	上の下	上の下
[認定品種] ど ま ん な か (山形35号) 中部42号×庄内29号 (イブキワセ)	平成 3 年	7 月 29 日	9 月 8 日	75.9	19.0	529	やや少・中	中間	中	淡飴・良	—	少	22.6	上の中	上の中
[認定品種] サ サ ニ シ キ (東北78号) 奥羽224号×ササシグレ (ハツニシキ)	昭和 39 年	8 月 1 日	9 月 12 日	81.9	18.4	588	少・短	穂数	やや易	淡飴・良	—	多く中	20.8	上の下	上の中

注：1）出穂期、成熟期、稈長、穂長、穂数、玄米千粒重は、農業総合研究センター水田農業研究所（鶴岡市藤島）
2）令和元年発刊から耐冷性の基準は、UPOV国際統一基準（2015年）に準拠。

（水 稻） 等 の 特 性 一 覧 表

諸抵抗性						生 育 の 特 徴			栽 培 上 の 留 意 点
葉 い も ち	穂 い も ち	白 葉 枯 病	紋 枯 病	耐 冷 性	耐 倒 伏 性	生 育 初 期	生 育 中 期	生 育 後 期	
						移 植 ～ 節 間 伸 長 始 期 まで	節 間 伸 長 始 期 ～ 穂 孕 期 まで	穂 孕 期 ～ 成 熟 期 まで	
中	中	やや弱	—	強	強	草丈はやや短めで 茎数はやや少ない。	葉色濃く、生育 量は少なめである。	短稈・短穂で疎 粒であることから 登熟が早い。	初期生育を確保し、適正な 粒数確保に努めるとともに刈り 遅れないよう注意する。
やや強	強	やや強	—	やや弱	やや強	草丈は、やや短く、 葉色はやや濃い。茎数は やや多い。	葉色は濃く、草 丈は短い。	短稈で穂数がや や多く、初期登熟 は緩慢である。	耐倒伏性に優れ、栽培しやすい ものの、晩生種であるため、 栽培可能な地域が限定される。 施肥基準を守り、適正な粒 数確保に努める。
やや強	強	やや強	—	中	強	草丈は「はえぬき」より やや短く、茎数は多く、 葉色はやや濃い。	草丈は短く、葉 色はやや濃く、 茎数は多い。	稈長は「はえぬき」より やや短い、穂長は 並で、穂数は多い。止 葉が立ち、草姿が良い。	「はえぬき」より穂数は確保 しやすいが、初期生育の促進 に努める。多肥栽培は品質、 食味を低下させるので行わ ない。
中	やや弱	やや弱	強	中	中	草 丈 は や や 長 く、葉色は濃い。	葉色が濃く、その 後草丈が伸長する 傾向がある。	穂数が多くなると 細粒化しやすく、 倒伏を招くおそれ がある。	割刈が発生しやすく、 斑点米カメムシ類の被害 を受けやすいので、適正な 防除に努める。また、下 葉枯れが多くなりやす いので、中干しや間断かん 水に努める。
やや弱	中	やや弱	—	かなり強	やや弱	草丈は「ササニシキ」 並で、葉色は濃く推移し やすい。	茎数は「ササニシキ」 より少なく、葉色は濃く 推移する。	稈長は「ササニシキ」 並でやや長く、穂数は 少ない。一次枝梗割合が 高く、登熟が早い。	「ササニシキ」より穂数、 一穂粒数が少ないため、 栽植密度や施肥に配慮し、 粒数の確保に努める。
強	極強	中	—	やや強	中	草 丈 ・ 茎 数 、 葉 色とも、「はえぬき」並 である。	草丈はやや長く、 茎数は、「はえぬき」より やや多い。	稈長・穂長とも、 「はえぬき」より 長く、穂数は並で 草姿が良い。	酒造用掛米に適する。 醸造適性を低下させない ため、また、耐倒伏性は “中”であることから、 多肥栽培は行わない。
弱	弱	強	—	かなり強	弱	草丈は伸びやすく、 葉数が進みにくい。	茎数は「ササニシキ」 より少なく、葉身が伸び やすく、葉色は比較的淡 い。	長稈で稈質もやや 柔であり、耐倒伏性は 弱である。	晩生種のため、条件の よい平坦地での作付けに 限る。生育量や粒数の増 加は倒伏や登熟不良に結 びつくため、施肥や栽 植密度に留意する。
やや強	中	やや弱	中	強	中	草丈は長く、茎 数は少ない。	節間は長めで、 やや長稈になり やすい。	葉身はやや長い が枯上がりは少 ない。	健苗の適期移植と保温 的水管理によって生育 促進を図り、早期に茎 数を確保する。多肥栽 培を避け、受光態勢を 良くして登熟向上に努 める。
やや弱	やや弱	中	—	弱	やや強	草丈は「ササニシキ」 並で、茎数はやや少な い。	生育量は中庸で 受光態勢が優れる。	中稈で、粒着密 度も中程度であるこ とから登熟は早い。	草姿が良好であるが、 いもち病に弱いので適 期防除に努める。
やや弱	弱	弱	中	やや弱	弱	草丈は並で、分げつ は発生しやすい。初期 の低温で生育が遅れ やすい。	葉身と節間が伸 びやすい。	止葉が大きいと 倒伏しやすく、登 熟が悪くなる。	健苗を適期に移植する とともに少肥で受光態 勢を良くし、いもち病 に注意する。生育量が 過大になると、倒伏し やすく、品質も低下す るので生育調節を十分 行う。

でのデータ（H23～R2の平均値）。

品 種 名 (系統名) 両 親 名	採用 年度	出穂 期月 日	成熟 期月 日	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m ²	芒の多少・長短	草 型	穂 発 芽 性	玄 米			食 味		
										色 沢・光 沢	心 白	腹 白		千粒重 g	品 質
[認定品種] 山 形 95 号 山形59号×奥羽366号 (ちゅらひかり)	平成 22年	8月 1日	9月 11日	80.7	19.6	521	少・やや短	中間	やや難	中飴・良	—	極少	22.9	上の上	上の中
[認定品種・低アミロース] 里 の ゆ き (山形84号) 庄1658×山形63号	平成 16年	7月 25日	9月 2日	61.6	17.4	519	稀・極短	中間	やや難	—	—	少	22.1	中の上	上の中
[優良品種・もち] ヒ メ ノ モ チ (奥羽糯277号) 大系227号×こがねもち	昭和 47年	7月 27日	9月 3日	77.8	18.9	441	少・短	偏穂重	易	乳白・中	—	—	21.3	上の下	上の下
[優良品種・もち] こ ゆ き も ち (山形糯87号) わたぼうし×山形糯55号	平成 18年	8月 2日	9月 13日	77.7	19.3	440	稀・極短	偏穂重	易	乳白・良	—	—	22.5	上の中	上の中
[優良品種・もち] で わ の も ち (び系糯60号) び系38号×中新糯40号	昭和 41年	8月 5日	9月 15日	80.8	18.0	427	無	偏穂重	易	乳白・中	—	—	19.2	上の下	上の下
[認定品種・もち] 山 形 糯 128 号 山形糯105号×庄糯3985	平成 29年	7月 24日	9月 3日	72.2	19.3	480	稀・短	中間	やや難	乳白・中	—	—	24.1	上の下	上の中
[奨励品種・酒米] 雪 女 神 (山形酒104号) 庄酒2560×蔵の華 (出羽の里)	平成 26年	7月 30日	9月 10日	79.2	20.2	499	やや少・中	偏穂重	やや難	中飴・良	多	少	26.5	上の下	—
[奨励品種・酒米] 出 羽 燦 々 (山形酒49号) 美山錦×青系酒97号 (華吹雪)	平成 7年	7月 31日	9月 11日	82.5	18.9	388	無	穂重	やや難	中飴・良	多	少	25.6	上の下	—
[優良品種・酒米] 美 山 錦 (信放酒1号) たかね錦のγ線照射突然変異	昭和 63年	7月 29日	9月 9日	91.9	20.3	408	無	穂重	難	中飴・良	中	少	24.5	中の上	—
[奨励品種・酒米] 出 羽 の 里 (山形酒86号) 滋系酒56号×山形酒49号 (吟吹雪) (出羽燦々)	平成 16年	8月 2日	9月 13日	77.0	18.9	468	稀・極短	偏穂重	やや難	中飴・良	極多	極少	25.9	上の中	—

注：1) 出穂期、成熟期、稈長、穂長、穂数、玄米千粒重は、農業総合研究センター水田農業研究所（鶴岡市藤島）
2) 令和元年発刊から耐冷性の基準は、UPOV国際統一基準（2015年）に準拠。

諸抵抗性						生育の特徴			栽培上の留意点
葉いもち	穂いもち	白葉枯病	紋枯病	耐冷性	耐倒伏性	生育初期	生育中期	生育後期	
						移植～節間伸長始期まで	節間伸長始期～穂孕期まで	穂孕期～成熟期まで	
強	強	中	—	強	中	草丈は「ササニシキ」並で、茎数も並である。	草丈はやや長く、茎数は、「はえぬき」並である。	稈長・穂長とも、「はえぬき」より長く、穂数は並で草姿が良い。	良質・良食味米生産のため、適正な施肥に努める。特に、耐倒伏性が中であることから、多肥栽培は行わない。
やや強	弱	やや弱	—	強	強	草丈はやや短く、茎数はやや少ない。葉色はやや濃い。	草丈は短く、茎数はやや多い。葉色はやや濃い。	稈長は短い。止葉が立ち、草姿が良い。	穂いもちのほ場抵抗性が弱いので、移植時の箱施用剤使用など適期適正防除に努める。品質と食味特性を低下させないため、多肥栽培は行わない。
強	強	弱	強	やや弱	中	草丈はやや長く、茎数は少ない。	葉身はやや長めだが、節間の伸びは並である。	登熟は比較的安定している。	白葉枯病に弱いので多発地帯には作付けしない。ふ先色が白で粳との識別性がないため、種子更新するなど粳と混入しないよう管理に努める。
やや弱	強	中	—	やや強	やや強	草丈はやや長く、茎数は少ない。	葉色はやや濃く、節間伸長は並である。	草姿は良く、登熟は早い。	倒伏には強いが穂発芽しやすいことから、適期刈取りに努める。
弱	やや弱	弱	弱	かなり弱	やや弱	草丈はやや長く、茎数は少ない。	節間伸長は並である。	止葉が大きくなると草姿がやや乱れる。	葉いもち、穂いもちに弱いいため、適期防除に努める。耐倒伏性は、やや弱いので、多肥栽培は避ける。
やや強	やや強	やや弱	—	中	中	草丈はやや長く、茎数は「ヒメノモチ」並である。	節間の伸びは緩やかである。	稈長は「ヒメノモチ」より短く、穂数はやや多い。ふ先色は“赤”である。	耐倒伏性が“中”で、穂発芽性は“やや難”であるが、適期刈取りに努める。
やや弱	やや強	やや強	—	やや弱	中	草丈はやや短く、茎数は確保しやすい。	草丈はやや短く、茎数はやや多い。節間伸長はやや伸びやすい。	稈長は出羽燦々よりやや短い。	醸造適性を低下させないため、また、葉いもち圃場抵抗性が“やや弱”、耐冷性が“中”であるため、多肥栽培は避け、適正管理に努める。
やや弱	やや弱	中	—	中	中	草丈は長く、茎数は確保しにくい。	葉色はやや淡く、節間がやや伸びやすい。	美山錦より稈長はやや短い。	保温的水管理で分げつを促進する。千粒重を確保するため㎡当たり籾数を多くしない。葉いもちに弱いので適期防除に努める。
やや強	中	中	—	中	やや弱	草丈は長く、茎数は確保しにくい。	葉色やや淡く、節間が伸びやすい。	長稈で倒伏しやすい。	保温的水管理で分げつを促進する。倒伏しやすいので、生育調節を徹底する。千粒重を確保するため㎡当たり籾数を多くしない。
やや強	やや強	やや強	—	やや強	中	草丈はやや短く、茎数は確保しやすい。	草丈はやや短く、茎数はやや多い。節間伸長は並である。	稈長は「出羽燦々」よりやや短く、草姿は良い。	醸造適性を低下させないため、多肥栽培を避ける。適正な㎡当たり籾数となるよう努め、千粒重を確保する。

でのデータ（H23～R2の平均値）。